

試験方法がまるわかり！

『PBT』 『CBT』 『IBT』 メリットや開催手順を徹底解説



この度は、資料『3つの試験方式 PBT・CBT・IBT メリットや開催手順を徹底解説』をダウンロードいただき、ありがとうございます。

本資料は、試験開催を検討中の企業様や開催手法について知りたい企業様向けに下記4点を目的として制作しています。スムーズな試験開催に向け、ぜひご活用ください。

本資料でわかること

1. PBT・CBT・IBTの概要
2. PBT・CBT・IBTのメリットとデメリット
3. 自社に最適な試験開催方法の見極め方
4. 試験開催で注意すべきポイント

01 各試験方式の概要とメリット・デメリット

試験方式概要

試験方式メリット比較

試験方式見極めフローチャート

02 試験開催に向けてやるべきタスクとポイント

タスクとポイント①～④

タスクとポイント⑤～⑧

まとめ

03 パーソルワークスデザインの試験運営サービスについて



01 各試験方式の 概要とメリット・デメリット

試験方式概要

試験方式にはPBT、CBT、IBTの3つがあり、それぞれメリット・デメリットがあります。

PBT

紙を使用した試験方式。
会場に赴き試験を実施する。

- ▶ 大学入試試験で採用

メリット

有人監視による
厳格性の保持

デメリット

会場費用が高額
荒天や災害の
影響を受けやすい

CBT

専用PCを使用した試験方式。

- ▶ 国家資格試験で採用

メリット

印刷**コスト削減**が可能

デメリット

ITスキルを保持した
試験監督が必要

IBT

会場に赴かず自身のPCから
行う試験方式。
公的試験での採用も増加中。

メリット

リモート開催ができる
試験日時の**選択肢**が多い

デメリット

環境の**公平性**が保てない
不正行為に気づきにくい

試験方式 メリット比較

試験方式を選ぶ際、主催者側の稼働やコスト、試験の公平性など複数項目で比較すると選択しやすくなります。自社における優先度と照らし合わせて決めましょう。

	PBT	CBT	IBT	備考
3密対策	×	△	◎	CBTは会場のレイアウト次第で3密を対策可能
導入のしやすさ	◎	×	○	CBTは専用端末と会場への設置が必要
コスト	×	×	◎	
主催者側工数	×	◎	◎	
不正行為防止	◎	○	△	
試験中のトラブル対応	◎	○	△	IBTは遠隔サポートで可能な範囲で対応
	『導入しやすさ』を優先したい場合におススメ！	『工数削減』を優先したい場合におススメ！	『コストカット』を優先したい場合におススメ！	



02 試験開催に向けて やるべきタスクとポイント

受験者がスムーズに受験できるように、開催前後でやるべきことを事前に整理しましょう。

1

共通

オンラインorオフラインの どちらで開催するか決める

検定内容や参加者により最適な開催方法は異なります。また、会場確保や試験用紙印刷の必要性も変わってくるため、オンラインとオフラインのどちらで開催するかは早い段階で選びましょう。

2

PBT, CBT

試験会場は確保できているか

参加人数や開催場所に合わせて試験会場を用意します。収容人数やアクセスのしやすさ、誘導のしやすさなど、受験者と開催者両方の視点で見極めましょう。

3

共通

事前の周知方法が決まっているか

受験者の募集や、受験者に向けた会場案内、受験時の注意事項などを伝える手段と手順を決めておく必要があります。余裕を持って周知できるように準備を進めましょう。

4

PBT, CBT

試験会場へ案内する スタッフは必要か

オフライン開催の場合は、試験会場への誘導スタッフが必要です。会場の広さやフロア数に応じて、何人必要か想定しておきましょう。

5

PBT, CBT

試験監督や監督補佐は 何人体制にするか

試験会場内にも、試験用紙の配布や試験中のモニタリング、有事の対応など人員が必要です。席の並びやルーム数に応じて不足の無いように手配しましょう。

6

CBT

試験監督に必要なスキルは 教育できているか

CBTでは専用端末を使うため、受験者が操作に手間どる可能性があります。監督者が試験手順やエラー発生時の対処法などを説明できるように、教育しましょう。

7

共通

採点のルールや委託有無が 決まっているか

試験後の採点方法についても事前に協議しましょう。また、アウトソースを検討する場合は特に、採点にムラが発生しないようにルールの明確化が重要です。

8

共通

試験結果の公表について 方法が決まっているか

試験結果をどのように公表するかを予め決めます。資格試験では、結果公表とともに資格認定書の発行が必要な場合もあります。開催後のタスクまで、抜け漏れのないようにしましょう。

まとめ

試験方式により、やるべきタスクや考慮すべき点は異なります。

IBTでは、Web環境トラブル対応用のコールセンタースタッフ会場の確保が必要となり、集合型で実施する**PBT**、**CBT**については、さらに**監督員や誘導員など、人材配置も必要**です。当日の**流れを事前にシミュレーション**すると安心でしょう。**混乱や不正なく受験できる環境作りと運用を徹底**することが大切です。





03 パーソルワークスデザインの 試験運営サービスについて

パーソルワークスデザインでは、主催者に代わり試験の運営を行います。**PBT方式**では、**運営をサポートすることで主催者の負担軽減が可能**です。さらに**IBT方式**では、試験開催に向けた**試験日調整や当日のリアルタイム監視、試験結果の即時開示**に至るまで代行し、主催者の稼働削減だけでなく受験者の満足度向上を実現します。

PBTサービス

- ✓ 特長 1 : 検定規模や受験者規模に適したフローを提供
- ✓ 特長 2 : 検定運営に特化した専門スタッフによる安定的なサービス提供
- ✓ 特長 3 : セキュリティー完備

IBTサービス

- ✓ 特長 1 : システム開発から試験後処理まで一気通貫で対応
- ✓ 特長 2 : 試験形態や要望に応じたカスタマイズが可能
- ✓ 特長 3 : コロナ禍でも試験開催が可能な運用体制

PBT、IBT単体の開催も、両方式で開催することも可能！
試験開催についてのご相談やご質問など、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

- 社名** パーソルワークスデザイン株式会社
- 本社住所** 東京都豊島区池袋2-65-18 池袋WESTビル
- 創立** 1968年12月
- 代表** 代表取締役社長 平林 由義
- 事業内容** BPOソリューション
HRソリューション
ITサポート/ヘルプデスク
コールセンター
健康支援
地域活性化支援
採用代行

